



第 44 号 2021 年 6 月

発行者：NPO 法人 介護の家コスモス男山

〒614-8372 八幡市男山笹谷 4-2 D19-106

TEL：075-983-2737 FAX：075-983-2746

e-mail：kosumosuot@gol.com

ホームページ検索用語 ⇒ 「コスモス男山」

<https://kosumosuot.sakura.ne.jp/hp/>

私自身が将来「居場所」としたいコスモス男山

4 年前に父が他界し、福島県南相馬市で 87 歳の母が一人市営住宅に住んでいる。コロナ禍で京都在住の私は帰省できず、電話とテレビ電話でやり取りをするだけであるが、昨年頃から電話で話すだけでも、“あれ？話がかみ合わない？さっき言ったことを覚えていない？娘と孫を混同している？四六時中何かをたべている？”と覚えることが多くなってきていた。

南相馬市は、大震災と津波の被害、原発の水素爆発で人口が大幅に減り、10 年たっても戻る気配はない。小規模多機能事業所やグループホームも入所できるところがない。姉と私たち夫婦もだんだん高齢化し、自分たちの将来と、母の老後をどうしたらいいのか不安が増してくる。そんな思いを理事長と常務に相談し、母への電話での接し方も教えていただいた。その上、介護保険や認知症ケアに関する基本の本をお借りできた。コスモス男山のように身近に相談できる場所があることが、とても重要だと再認識した。

先日の理事会で、「2020 年のコスモス男山」のスライドを見せていただいた。コロナ禍であっても職員さんの知恵と工夫で、楽しい企画や行事が行われ、利用されている皆さんがとてもいい顔で、拝見している私達も楽しくなった。私の母も、私自身も、私の身内も、コスモス男山のような「居場所」でお世話になりたいと、改めて感じた。

認知症になっても安心して生きていける社会になってほしい。認知症になくてできないことやわからないことが増えたら、援助してもらえ「居場所」でお世話になりたい。必要な場面で必要な時に利用できる介護保険制度であってほしい。その道筋を、コスモス男山が積み重ね築き上げていると、感じている。

理事 椎名 みゆき



コスモス アラカルト

節分



♪ トラのプロレスラーは縞々パンツ〜 ♪

懐かしいメロディーで登場した縞々パンツの黒鬼さんは、みんなと一緒に体操！です。続いてやってきたのは、大きな金棒を振り回す赤鬼さん。

アルミホイールとサララップで作った特製の豆を投げる予定でしたが、鬼の正体を知っている心優しい利用者の皆さんは、ほんの真似事だけ。

なごやかで微笑ましい豆まきとなりました。

ひな祭り



3月3日、十二単衣風の手作り衣装を身にまとった、濃厚な化粧のお雛様が、シングルでコスモス男山に降臨！

お雛様は、静々と一人一人にお声掛けした後、歌謡曲「カモメがとんだ〜♪」に合わせて、髪振り乱しての抱腹絶倒の踊り。そのあとは口の周りをきな粉だらけにした二人羽織。

利用者の皆さんは、満面の笑顔でお雛様とツーショットの写真におさまりました。準備した職員は、その笑顔に、やってよかった〜！と心から思ったそうです。

利用者さんが2部屋に分かれておられるので、全2回公演。喫茶「おいでやすコスモス 103」のお客さんまでのぞきに来られた一大イベントとなりました。

花見

例年より1週間は早い桜。去年はコロナ禍であきらめた花見でしたが、今年は、短時間、少人数で3回に分けてさくら公園やあらかし公園に行ってきました。

青空に映えるさくらの花びらに、皆さん、「きれいねえ」と見入っておられました。

おまけにさくら公園では、孔雀の求愛ダンスや人恋しいヤギさんにも出会えて、なんだか、得した気分のお花見でした。



コスモス会

コスモス会は、「コスモス男山」の「コスモス喫茶」を前身に、「おいでやす 103」のオープンと同時に在宅の高齢者の見守りと人つなぎを目的に発足しました。月に一度第二水曜日に、これまで延べ 100 回程の会食付きの集いを重ねてきました。お花見・大型スーパーへの買い物ツアー・近隣店での外食等、昨年はコロナ渦で3回休みましたが、元気なおしゃべりと情報交換は笑いが絶えません。

今年の誕生日で91.8歳。4月14日の参加者の五人の女性の平均年齢です。一人暮らしが4人、同居が1人。5人共に炊事・洗濯等をご自分でこなし、これまでに戦争・怪我・事故・病気・トラブル等をくぐり抜け、ご自宅でそれぞれご自分のペースに合った生活をしておられます。「みんなで食べると美味しいねー」と、本日の定食・おやつ・コーヒーを完食です。エクセレント！コロナが治まったら行きたいところは回転寿しだそうです。もちろんお供いたします。

コロナ禍を無事やり過ごし、全員が元気にその日を迎えられるように。（コスモス会世話人一同）



本のリユース - コスモス文庫

コスモス文庫では、コスモス男山北側通路2か所にリユース用の本を置いています。新型コロナウイルス禍から思うように楽籠脱出できない方のために半年前にOPENしました。ご自由にお持ち帰りください。逐次補充します。近隣の方からもご寄贈頂いております。

また2階には4,000冊を数えるコスモス文庫があります。開館日時は火～金曜日の13時30分～15時までです。所定の手続きにより借り出し可です。お気軽にお立ち寄りください。



高校生体験実習受入、職員研修

高校生の体験実習を受け入れて

2月1日から5日まで、八幡支援学校の高校生1名の体験実習を受け入れました。昨年の9月にも5日間受け入れましたが、その時は男子、今回は女子生徒でした。

コロナ禍中ではありましたが、感染対策をしたうえで、介護事業所の現場を勉強していただきました。利用者の方も一緒にレクリエーションをしたり、学校での事や趣味の話をしたりと、学生の方との触れ合いに気分も若返ったようです。(所長 西村)



非介護職員の認知症研修を終えて

先だって介護に携わる機会が少ない非介護職員（送迎、調理、事務）と共に認知症について学びの機会を持ちました。先ずは適切な認知症ケアの前提になる基礎知識を述べ、症状としての中核症状、周辺症状への理解の大切さを説明した。



コスモス男山では月に一度認知症の相談会・コスモスオレンジカフェを開いているが、相談に見えた方から「認知症だけはなりたくない」という言葉を聞き、「認知症」が如何にこの社会で忌避されているかを思い知らされた。様々な差別や排除の無い社会的基盤を持たなければ、認知症の方に対する受け入れも困難なのだろうかと暗然としたこともあったが、同時にコスモス男山が地域で果たす役割も見えてきた気がします。(理事長 井上)

はやりのWEB研修・会議なるものに参加して

コロナ禍で、3密を避けるために、急速に広がったWEB会議や研修。私も初めて経験したが、往復の移動時間が全く不要である便利さは、想像以上だった。出張でなら、迷った挙句参加しなかっただろう5回連続の認知症関連の講座も視聴できたり、東京で開催された研修にリモートで参加し、全国各地の人と交流もできた。もう一つの利点は、内容が予想と異なった場合、惜しげなくその場から抜けられることだ。

驚いたことに各地の「認知症カフェ」などにも、かなりリモート方式が広がっていた。やむを得ない選択だったと思うが、リアルと組み合わせて実施することは、体の不自由な方や体調の悪い方にも便利だろう、と感じた。壁を感じることなく使用しやすいツールにしていけば、居ながらにして空間を超えられる。これは、なかなか凄いなことだ。(事務局 萬田)

コスモス・カルチャー

俳句

- 春惜しむ五百羅漢の目のうつろ
- 針穴の向うに希望針供養
- 見習うは役割分担親つばめ
- 万愚節からくり小箱手に軽し
- 深吉野の遅るる便り小町の忌
- 走り茶や修復終へし中宮寺
- 白南風しらばえや双子のためにある乳房
- 天瓜粉てんかふん真実吾子は一貫目
- 原爆忌肌にワンピース転写さる

かつら

みやこ

信

☆ コスモス男山の活動状況 ② ☆

活動日誌 2021年2月～2021年5月

2月 1日：「コスモスだより」43号発行 1日～5日：府立八幡支援学校実習生受け入れ 5日：常勤会議（以後第1、3金曜日開催） 6日：非介護職員 認知症研修 18日：床クリーニング（株ダスキン。以後偶数月第2木曜日作業） 19日：業者と打合せ（特定社会保険労務士・あおぞら。以後毎月第3金曜日開催） 24日：事務局会議（以後第4水曜日開催）

3月 1日：処遇改善交付金支給（後期）／2021年度労働条件通知書交付 3日：ひな祭り会／調理会議 4日：介護予防事業「わくわく教室」再開（3月18日にも開催） 10日：人事委員会 15日：運営推進会議（書面会議） 20日：ケア会議／認知症相談・オレンジカフェ 26日：市・防災無線訓練／誕生会／観桜会（他日にも開催） 30日～7月末：介護職員初任者研修1名受講

4月 1日：介護予防事業「わくわく教室」（4月15日にも開催） 2日：定款検討委員会 3日：「コスモスだより」編集会議 16日：第1回定例理事会 17日：ケア会議／認知症相談・オレンジカフェ

5月 17日：運営推進会議（書面会議） 19日：第2回定例理事会／会計監査

今後の活動予定

6月 1日：「コスモスだより」第44号発行 6日：第16回定時総会（書面表決） 7日：府立八幡支援学校実習生受け入れ（2年生1名） 17日：市・シェイクアウト訓練（防災一斉行動訓練） 1日：夏季賞与支給

7月 1日：夏季賞与支給

8月 16日～9月1日（内3日間）：花園大学生実習受け入れ
中旬：排水管、汚水桝洗浄

書名	著者	発行所
女だてら	諸田玲子	KADOKAWA
時代小説 ザ・ベスト 2020	日本文芸家協会編	集英社文庫
ウイルスと人間	山内一也	岩波書店
緩和ケア医が、がんになって	大橋洋平	双葉社
がんを生きる緩和ケア医が答える命の質問 58	大橋洋平	双葉社
歌集 蝉声	河野裕子	青磁社
抗路 5号		クレイン
日本のファシズム	大藪龍介	社会評論社
コロナ禍の死刑	年報・死刑廃止編集委	インパクト出版
風よあらしよ	村山由佳	集英社
虫とゴリラ	養老孟子、山極寿一	毎日新聞社
国道3号線 —抵抗の民衆史—	森本齊	共和国
つげ義春	正津勉	作品社
現代社会とメンタルヘルス	中谷陽二他	星和書店
北条五代 上・下	伊東潤、火坂雅志	毎日新聞社

事務局より

みなさまからご寄付をいただきました。

- ・指月の尾上さんより新米を
- ・「ふきよせ」さん、和田さんより捨て布を
- ・匿名さんよりマスクを
- ・家村さん、第四住宅のSさんより介護用品を

ありがとうございました。



編集後記

六月は水無月、雨と水の月です。晴れた日には男山指月の高台から梅田、淀屋橋のビル群、更に南のアベノハルカスまでも視界に入りますが、梅雨の長雨になると枚方方面の家並が煙って見えません。雨の六月はモノを隠す月でもあります。

日本列島上空には「空の水道」が集中している」と気象予報士として活躍しておられた倉嶋厚さんが指摘していたように日本は雨の多い国です。線状降水帯が大水を起こし、人間生活に多大な被害を与えています。反面、恵みの雨にもなり、その効用は「豊穰」の二文字に極まります。殊に、米作と降雨の関係は悩ましい歴史を繰り返してきました。

先ほどの倉嶋さんの著作に「雨のことは」を1190語集めている『雨のことは辞典』（講談社）という本があり、感性豊かな日本人の言語表現を満載させています。加えて、科学者としての真摯な眼力、目線をお持ちの倉嶋さんは、「黒い雨」、「放射能雨」、「酸性雨」にまでも説明しておられ、さすがと感入っています。

コロナ禍で苦渋の日々が続いています。政府招集の「コロナ対策の専門家」集団がまるで政権の使い走りに見えて残念でなりません。科学立国を「国是」としているのですから、縦割り行政の省益や族議員の悪しき権益を脱し、真摯な科学者たちの知見を基本にした対応と施策が必要です。

北原白秋さんは、童謡『雨』で、「雨がふります 雨がふる／遊びにゆきたし 傘はなし／べにおのかっこもおが切れた」と哀感を紡ぎましたが、貧弱な科学政策では、役立たない傘や履物ばかりで、命も守れません。モノを隠すとセカイが危険になると考えるのは老生だけでしょうか。（礼）